

令和6年度 第2回 三浦市在宅医療・介護多職種連携研修

「団塊の世代」全員が75歳以上となる2025年はいよいよ来年となりました。三浦市的人口に対する65歳以上の人の割合は、令和4年1月1日現在で41.2%であり、すでに「超高齢社会」に突入していますが、高齢者の皆さんは元気に暮らしています。

これからますます医療需要が増えてくる中、病院や診療所に通えなくなる方が住み慣れた地域で暮らしていくために訪問診療の需要は高まってきます。

そして、医療から介護に移行する場面、介護から医療を受ける場面を迎え、地域包括ケアシステムをしっかりと構築するためには、医療と介護の連携ネットワークがスムーズにつながることが重要だと言えます。

このたびの研修は、神奈川県立保健福祉大学より小河原格也先生をお招きし、認知症の前段階である SCD および MCI 段階に焦点を絞り、生活行為の障害と生活支援について、講演していただきます。

今回のテーマは

「*SCD (主観的認知機能低下) および
MCI (軽度認知障害) 段階における
生活行為の障害と生活支援*」

日 時 令和7年1月24日（金）19時00分～20時00分(解散)

場 所 ホテルマホロバマインズ三浦 13階会議室

対 象 医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・栄養士・歯科衛生士・介護支援専門員・介護福祉士・介護職・社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事・その他必要とする関係者

定 員 50名（先着順）

主 催 三浦市
主 管 一般社団法人三浦市医師会
共 催 神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター
協 力 三浦市地域ケア連携会議



内 容

進 行 三浦市医師会 理事 薫谷 收 先生（三浦診療所）

テ ー マ 「SCD（主観的認知機能低下）および
MCI（軽度認知障害）段階における
生活行為の障害と生活支援」



講 義 講 師

神奈川県立保健福祉大学
リハビリテーション学科 作業療法学専攻

小河原 格也 先生

【ご略歴】

2001年～ 特別医療法人（現：社会医療法人）春回会 長崎北病院
2003年～ 医療法人和仁会 和仁会病院
2005年～ 医療法人重真会 介護老人保健施設フォスター島原
2009年～ 神奈川県立保健福祉大学
リハビリテーション学科（現在に至る）



【非常勤】

2004年～ 医療法人みどりグループ 秋櫻醫院
通所・訪問リハビリ（～2009年）
2019年～ 医療法人財団青山会 介護老人保健施設なのはな苑（現在に至る）

【資格など】

作業療法士（認定作業療法士）、福祉用具プランナー、福祉住環境コーディネーター2級
スクエアステップ指導員、マットスインストラクター、SUP インストラクター

質 疑 応 答

参加申込 別紙申込書用紙に必要事項をご記入の上、FAXで下記あてお申込みください。なお、電子メールにてご案内を希望される方は、お問い合わせ先電子メールに空メールを送信してください。

申込期限 令和7年1月15日（水）

※申込期限前でも、先着50名になり次第締め切りとさせていただきます。

問い合わせ及び申し込み先

一般社団法人 三浦市医師会事務局

TEL : 046-881-2376 FAX : 046-881-2392

E-mail : me156301@pastel.ocn.ne.jp